

V 標準化会議の事業計画

1. 概要

標準化会議は、会員ニーズに基づいた規格づくりを進めている。国内標準化活動では、JIS、JASO 及び JSMA 規格の制定及び改正原案作業に取り組む。国際標準化活動では、ISO/TC227ばねの規格開発を継続実施する。具体的には、ドイツ提案の圧縮コイルばね試験法は2回目のCD投票が実施予定なので、「ばね定数」を規格に残すべき、という日本の意見を附属書にて反映されるように取組み、DIS 段階への移行を目指す。

11月に名古屋で開催される第15回 ISO/TC227ばね国際会議に参加し、ISO 規格化に向けての原案審議を行う予定である。

2. 標準化会議開催計画

第1回標準化会議は6月、第2回は10月、第3回は2020年2月に開催予定である。ISO/TC227ばね国際規格開発、各部会、JIS 及び JASO 規格開発の活動計画について審議予定である。

3. 活動の詳細

(1) 国内規格関係

① JIS 規格関係

2019年度は重ね板ばね4規格の内、2規格の改正作業を行う。10月末に改正原案を日本規格協会に提出予定である。

② JASO 規格関係

自動車技術会規格委員会要素部会の活動に例年どおり参加する。

③ JSMA 規格関係

標準化会議の4部会が共に年間1から2規格の改正原案作成作業を行う。

(2) ISO 規格関係

① ISO/TC227ばね関連の国際標準化活動

1) 第15回 ISO/TC227国際会議

11月14日及び15日、名古屋で開催予定の際会議に参加し、以下の議案審議をする予定。

- ・ドイツ提案の圧縮コイルばねの試験法
- ・イタリアから提案予定の引張のコイルばね試験法

② 政府制度の活用

以下の政府制度を活用し、ばねの国際標準化活動の推進を図る。

1) 国際幹事国際会議派遣事業

2) ① 1) 項対応。